



「原子・分子の自在配列と 特性・機能」領域 3期生 公開シンポジウム

参加費無料

日時 2025年3月27日(木) 13:00～15:40 (受付開始：12:30)

会場 関西大学 千里山キャンパス 第4学舎4号館2階4202
<https://www.kansai-u.ac.jp/ja/about/campus/#senriyama>

概要

さきがけ「自在配列」領域の公開シンポジウムを開催いたします。本さきがけ研究領域は、2020年10月に立ち上がり、原子や分子を自在に結合、配列、集合する手法を駆使して、新しい物質や構造体を生み出し、その構造がもたらす新しい特性や機能を引き出すことにより、革新的な物質科学のパラダイムを構築することを目指しています。今回のシンポジウムでは、2022年度採択課題（3期生）の研究成果を紹介いたします。いずれの課題も挑戦的で独創的であり、多くの革新的な成果が生まれました。ご期待ください。

定員 100名程度（オンラインでの配信はございません）

問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部
さきがけ「自在配列」領域担当
E-mail: presto_pma@jst.go.jp



お申し込みは
こちらから

※日本化学会春季年会に登録されていない方も
無料でご入場いただけます。
※定員に達しましたら締め切ります。

<https://form2.jst.go.jp/s/pma-sympo20250327>



プログラム

13:00- 13:10

西原 寛 研究総括（東理大総研）
開会挨拶

第一部 座長：山元 公寿（科学大総研）

13:10- 13:30

山内 祥弘（NIMS）
ボトルブラシポリマーによる相分離構造の創成

13:30- 13:50

森川 大輔（東北大多元研）
ナノ電子プローブによる局所領域の結晶構造および電子密度分布解析

13:50-14:10

茂木 裕幸（筑波大数理）
光走査プローブ顕微鏡で拓く低次元材料のナノスケール時間分解評価法

14:10-14:30

桑原 卓哉（阪公大工）
メカノケミストリーを活用した2D超潤滑原子構造の自在創成

14:30-14:40

休憩

第二部 座長：西原 寛（東理大総研）

14:40-15:00

新津 藍（理研）
膜貫通ペプチドの自在配列

15:00-15:20

樫田 啓（名大院工）
アプタマー開発に向けた人工核酸配列解析法の開発

15:20-15:40

鈴木 雄太（京大iCeMS）
自在配列による機能性タンパク質集合体の創成



お申し込みは
こちらから

※日本化学会春季年会に登録されていない方も
無料でご入場いただけます。
※定員に達しましたら締め切ります。

<https://form2.jst.go.jp/s/pma-sympo20250327>